



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 日本石油輸送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9074 URL <https://www.jot.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 昌一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 松井 克浩 (TEL) 03(5496)7671
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,122	△9.2	△24	—	99	△64.1	19	△90.3
2020年3月期第1四半期	7,845	1.5	92	△48.8	276	△13.9	203	2.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 115百万円 (△59.1%) 2020年3月期第1四半期 282百万円 (△50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.94	—
2020年3月期第1四半期	61.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	32,689	19,223	58.8
2020年3月期	33,301	19,240	57.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,223百万円 2020年3月期 19,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが現時点では困難な状況にあるため、未定としております。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,322,935株	2020年3月期	3,322,935株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	14,876株	2020年3月期	14,866株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,308,062株	2020年3月期1Q	3,308,232株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが現時点では困難な状況にあるため、未定としております。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、詳細については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により政府の緊急事態宣言が発出され、社会経済活動全体が減退した影響により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましても、感染症の影響を受けた輸送需要の減少により、厳しい状況に直面しております。

このような状況のもと、当社グループは、従業員や関係する皆様への感染予防に万全を尽くすとともに、国民の生活や経済活動を守るインフラ企業グループとして、企業活動に制約があるなか、エネルギーや食料品の安全・安定輸送の継続に尽力し、その社会的使命を全ういたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、輸送需要の減少等により、7,122百万円(前年同期比9.2%減)となり、営業損失は24百万円(前年同期は92百万円の営業利益)、経常利益は99百万円(前年同期比64.1%減)となりました。また、感染症への対応費用を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円(同90.3%減)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(石油輸送事業)

石油輸送事業につきましては、感染症の影響による外出自粛等により燃料油需要が大幅に減少し、緊急事態宣言の解除後も、引き続き需要が低迷したことから、売上高および営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,217百万円(前年同期比11.2%減)、営業損失は108百万円(前年同期は46百万円の営業利益)となりました。

(高圧ガス輸送事業)

高圧ガス輸送事業につきましては、主要顧客の運賃改定や新規輸送の獲得があったものの、感染症の影響による需要減等により、売上高は減少いたしました。一方、燃料費や人件費等の経費の減少により、営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,949百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は51百万円(前年同期は15百万円の営業損失)となりました。

(化成品・コンテナ輸送事業)

化成品輸送事業につきましては、収益の維持に努めましたが、感染症の影響等による国内外の需要の減少や主要顧客の販売減により、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、工業品や清涼飲料水等を中心に、感染症の影響により需要が減少したため、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は1,899百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益は3百万円(同91.5%減)となりました。

(その他事業)

太陽光発電事業につきましては、売上高は55百万円(前年同期比3.7%減)となりましたが、点検費等の経費の減少により、営業利益は28百万円(同23.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は32,689百万円となり、前連結会計年度末に比べ611百万円減少いたしました。

流動資産は5,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,015百万円減少いたしました。これは主に季節変動による受取手形及び売掛金の減少と、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は26,992百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具で減価償却が進捗したものの、有形固定資産その他の取得および投資有価証券が時価変動により増加したことによるものであります。

負債は13,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円減少いたしました。これは季節変動による支払手形及び買掛金の減少と、法人税の支払により未払法人税等が減少したことによるものであります。純資産は19,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したものの、配当金支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.0ポイント上昇し、58.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響および感染拡大の範囲や終息時期が不透明な状況のなかで、その影響を合理的に算定することが現時点では困難な状況にあるため、公表しておりません。今後、業績への影響を慎重に見極めて、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546	1,916
受取手形及び売掛金	3,631	2,791
その他	534	989
流動資産合計	6,712	5,696
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,123	3,921
コンテナ(純額)	2,718	2,643
土地	5,828	5,828
リース資産(純額)	6,430	6,258
その他(純額)	2,264	2,957
有形固定資産合計	21,366	21,609
無形固定資産		
ソフトウェア	203	191
その他	18	26
無形固定資産合計	221	217
投資その他の資産		
投資有価証券	3,607	3,745
その他	1,392	1,420
投資その他の資産合計	5,000	5,166
固定資産合計	26,588	26,992
資産合計	33,301	32,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,785	1,316
短期借入金	451	482
未払法人税等	396	75
賞与引当金	758	908
役員賞与引当金	111	44
その他	3,219	3,445
流動負債合計	6,722	6,273
固定負債		
リース債務	4,649	4,460
修繕引当金	295	291
退職給付に係る負債	1,657	1,688
その他	735	752
固定負債合計	7,338	7,192
負債合計	14,060	13,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	17,263	17,150
自己株式	△36	△36
株主資本合計	19,179	19,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245	324
繰延ヘッジ損益	△3	△0
退職給付に係る調整累計額	△181	△166
その他の包括利益累計額合計	61	157
純資産合計	19,240	19,223
負債純資産合計	33,301	32,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,845	7,122
売上原価	7,218	6,620
売上総利益	627	501
販売費及び一般管理費	535	526
営業利益又は営業損失(△)	92	△24
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	128	67
固定資産賃貸料	64	77
固定資産売却益	10	6
持分法による投資利益	22	21
雑収入	16	8
営業外収益合計	242	181
営業外費用		
支払利息	18	18
固定資産賃貸費用	21	23
固定資産除売却損	7	12
雑損失	11	3
営業外費用合計	58	57
経常利益	276	99
特別利益		
固定資産売却益	71	—
特別利益合計	71	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	65
固定資産除売却損	18	—
特別損失合計	18	65
税金等調整前四半期純利益	329	33
法人税等	126	14
四半期純利益	203	19
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	203	19

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	203	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	80
繰延ヘッジ損益	△4	2
退職給付に係る調整額	10	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△1
その他の包括利益合計	79	96
四半期包括利益	282	115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282	115
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,624	2,024	2,139	57	7,845	—	7,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	114	1	17	—	132	△132	—
計	3,738	2,025	2,157	57	7,978	△132	7,845
セグメント利益又はセグメント損失(△)	46	△15	38	23	92	—	92

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油輸送	高压ガス 輸送	化成品・ コンテナ 輸送	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,217	1,949	1,899	55	7,122	—	7,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	92	1	20	—	113	△113	—
計	3,309	1,950	1,919	55	7,236	△113	7,122
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△108	51	3	28	△24	—	△24

(注)1 報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

(注)2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。